

## 南九州市男女共同参画基本計画に基づく令和6年度実施事業の 進捗状況評価に対する意見について（報告）

本計画の令和6年度の実施事業の進捗状況に対する内部評価（各担当課、まちづくり推進課及び男女共同参画推進会議）の報告を受けて、信頼性及び客観性を付加する観点から、外部評価として実施しました。

以下、評価に対する審議会の意見として報告いたします。

### 【1. 就業環境における女性活躍の推進について】

女性が生き生きと働くことができる就業環境の整備は、本市の持続的発展及び地域の活力維持に直結する重要な課題である。そのため、南九州市商工会をはじめとする関係機関と連携し、女性のキャリア形成支援や職場環境の改善に向けた取組を推進するとともに、企業向けの意識啓発を継続的に実施していただきたい。

### 【2. 多様な市民が参画しやすい審議会等の環境整備について】

市の施策について協議が行われる審議会等においては、必要な場面で必要な方が意見を述べ、その意見を適切に反映できる環境の整備が重要である。委員の選任にあたっては、性別や年代に偏りが生じないよう工夫するとともに、会議の開催日時や場所の設定に配慮し、多様な立場の意見が反映されるよう努めていただきたい。

### 【3. 若年層へのDV防止教育と実態把握の推進について】

DVの加害者と被害者双方がその関係性をDVと認識していない場合も多く、早期の気づきが抑止につながることから、学校や地域を通じた若年層へのデータDV防止教育や関係機関との連携による実態把握と支援体制の充実を一層推進していただきたい。

### 【4. 多様な生き方を尊重する制度整備の推進について】

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の円滑な導入に向け、関連する条例や規則等の整備、また庁内での意識共有の徹底を着実に進めていただき、多様性を包摂する行政運営を推進していただきたい。

---

### 【総評】

本年7月に内閣府から発表された「地方創生2.0基本構想」において、地域に関わる政策の基本的な視点として、「若者や女性が安心して働き、暮らせる地域」が重視されており、少子高齢化・人口減少が進む本市においても、男女共同参画・ジェンダー平等の取組がますます重要となります。

南九州市男女共同参画審議会でも、あらゆる分野でのジェンダー主流化の促進について各委員から様々な意見があり、熱心な議論がなされました。特に若者や女性の人口流出の背景には、地域に根強く残る固定的な役割分担意識やアンコンシャス・バイアスが一因になっているのではないか、という視座が得られました。

これらの課題に対応するためには、地域社会全体の意識改革を行うとともに誰もが働きやすく、魅力を感じる職場環境づくりを進めることが重要であり、併せて審議会等の政策決定過程において女性委員の登用を推進し、多様な視点を政策に反映させることが求められます。

これらの取組を行政、市民、事業者及び地域団体等がそれぞれの立場で協働し、着実に進めることにより、南九州市が「住みやすく、また帰ってきたい、行きたい」と感じられる地域へつながっていくことが期待されます。誰もが安心して暮らし、活躍できる男女共同参画社会の実現のために引き続き関係機関と連携しながら、計画を確実に実行し、推進していただくことをお願いして評価といたします。

令和7年11月4日

南九州市男女共同参画審議会